

土地連、防衛相に抗議 コピー問題で 賃料500億円増で妥協案も提示

土地連、防衛相に抗議

コピー問題で 500億円増妥協案も提示

【東京】2012年5月に賃貸借契約が切れる米軍用地をめぐる、防衛省が県軍用地等地主会連合会（土地連、浜比嘉勇会長）に対し、地主たちの契約同意書の複写（コピー）を根拠に契約更新手続きができることを示した問題で、浜比嘉会長らは14日、藤村修官房長官と一川保夫防衛相をそれぞれ訪れ、「目的外使用だ」と抗議した。土地連によるはもつともだ。こういうことがないよう申し入れる」と述べ、防衛省にコピーを契約更改に使用しないよう指示する考えを示したという。一方、一川防衛相は「事務方と相談する」と述べ、明確な回答を避けた。

また、浜比嘉会長は同日の会見で、防衛省との契約更改交渉が難航している軍用地料をめぐる、一川防衛相に対し「あなた（一川防衛相）が500億円を出す」と決断すれば済む」と要求したことを明らかにした。土地連は2012年度から20年の賃貸借契約を控え、土地評価の見直しや軍

用地としてのリスク加算など新たな算定方式で09年度比1・96倍、855億円増の1782億円を要望しているが、防衛省は当初、前年度比1・1%増を提示。土地連が不満を示したことから、1・64%増の約932億円を再提示したが、土地連側は応じていない。

浜比嘉会長が一川防衛相に提示した500億円増は前年度比約1・6倍に当たり、土地連が要求する1・96倍、855億円増には満たないが、同会長は「落とすどころも考えなくてはいいけない。これぐらいなら思ってもいいと個人的には思っている」と述べ、500億円増程度で妥協する選択肢もあることを示唆した。

浜比嘉会長は「年末の予算編成で要求が認められなかったら、来年の特別会計で（土地連の要求額を）計上するよう要望したい」と述べた。15日も民主党に対して同様の要請を行う予定。



一川保夫防衛相（右）に契約同意書の複写（コピー）の返還を求め抗議する土地連の浜比嘉勇会長（左から3番目）14日午後、防衛省

土地連、防衛相に抗議 コピー同意撤回要請 賃料 500億円増で妥協も

土地連、防衛相に抗議

コピー同意撤回要請

【東京】来年5月に期限が切れる米軍用地の賃貸借契約で、県軍用地等地主会連合会（土地連）の浜比嘉勇会長は14日、一川保夫防衛相と防衛省で面談し、予約締結同意書のコピーを根拠に契約更新が可能とする同省の見解に抗議した。見解を撤回し、コピーを返却するよう求めたが、一川氏は「事務方と相談する。努力する」と述べるにとどめた。

賃料500億円増で妥協も

賃貸借料交渉について、浜比嘉会長は500億円積み増せば国に歩み寄る意向を示した。面談後、記者会見した浜比嘉会長は「それくらいの予算は沖縄への措置として必要」と述べた。

浜比嘉会長は同日、国会内で藤村修官房長官とも面談。藤村氏は「真摯に受け止める。皆さんの抗議はもつともだ」とした上で、「防衛省とよく相談する」と述べたという。

土地連は、①コピーの速やかな返却②賃貸借料見直しの意見調整の真摯かつ誠実な対応③コピーで地主の同意とみなせる見解の即時撤回の3点を求めた。

浜比嘉会長は会見で「コピーを（契約更新に）使わない」という文書を持ってこない」と信頼関係は厳しい。

借料交渉の前提が崩れている」と述べ、同省との交渉に応じない姿勢を強調した。

下地幹郎（国民新）、玉城アニー（民主）両衆院議員、山内徳信参院議員（社民）が同行した。



一川保夫防衛相（右）に契約同意書の複写（コピー）の返却を求め抗議する土地連の浜比嘉勇会長（左から3番目） 14日午後、防衛省